

日本バイオインフォマティクス学会第15回評議員会 議事録

日時：2006年3月24日15時～17時

場所：八重洲富士屋ホテル・紅葉

出席者（敬称略）：

江口、中井、松野、蓑島、輪湖(幹事・評議員)、小長谷、五斗、小森、田中、藤、西川、北島、五條堀、清水(謙)、辻本、長野、平川、福本、鈴木、渋谷(議事録)

1、新評議員の紹介

平成18年度より評議員となった北島委員、五條堀委員、清水委員、辻本委員、中井委員、長野委員、平川委員、福本委員に自己紹介をして頂いた。

2、地域部会について

学会の地域における活動を活性化するために昨年より地域部会を立ち上げたが、次年度より地域部会運営のための規定を策定することになり、それについて江口会長より報告があった。

学会事務局は、各地域のバランスと長期にわたる活動を支援して行くことが確認された。また、作成された規定には前文を加えて、その趣旨をよりわかりやすくすることになった。

また、各部会のアクティビティの方向性については、各部会に裁量権があることが確認された。

さらに、平成18年度に設立された地域部会長の推薦およびその承認がなされた。承認された地域部会長は以下の通り。

北海道地域部会長 遠藤俊徳（北海道大学）

東北地域部会長 中山雅晴（東北大学）

関西地域部会長 坂田恒昭（大阪大学）

中国・四国部会長 妹尾昌治（岡山大学）

九州・沖縄地域部会長 藤 博幸（九州大学）

3、平成18年度研究会活動計画

平成18年度のバイオインフォマティクス学会の各研究会に関して江口会長から報告があり、来年度はシステムバイオロジー研究会、創薬インフォマティクス研究会、オントロジー研究会、及び新研究会として機能ゲノミクス研究会の4研究会で活動していくことになった。

なお、生物情報ネットワーク研究会については、今後の活動方針を必要に応じて改めて審議することになった。

松野委員よりシステムバイオロジー研究会の予定に関して報告があり、首都圏、地方で各二回の研究会を実施する予定であることが報告された。この研究会に関しては、更に運営委員を増やす可能性があり、その際は評議員会のメーリングリストで承認を行うこととなった。

オントロジー研究会に関しても五斗委員より、18年度は年二回の活動をする予定であることが報告された。

また、これら4研究会の新任運営委員について、機能ゲノミクス研究会を除いて承認され、機能ゲノミクス研究会については計画が固まったところで再度メール等で審議することになった。

4、学会倫理指針について

日本バイオインフォマティクス学会倫理綱領案について江口会長と蓑島委員より報告があった。これまでにその策定案に対し、

- もっと JSBi の特色が出せるとよいのではないかな？
- 倫理綱領は何に用いるのかな？
- 一部分表現にこなれていない部分がある。
- もう少しおおまかでもよいのではないかな？

といった意見が出されていることが報告された。また、この綱領に対して様々な意見が出され、これらの意見をいれてさらに案を練って行くことになった。

- 多くの学会で倫理はそれほど異なるものではなく、JSBi の特色といっても底は同じなのではないか？ また、倫理規定は何かを用いる、といったものではなく、心構え、ということでのよいのではないか？ また作成された倫理綱領案は他学会と比較するとほぼ中間的な大きさである。(蓑島委員)
- 個人情報について一言あってもよいのではないか？ (田中委員・小長谷委員)
- 情報システムが人の生命にかかわることもあり、このような倫理規定の策定は必要。(五條掘委員)
- 科学研究には誠実さが必要であり、そういう意味でこういった倫理規定は重要。(長野委員)
- 学会としてのポリシーが重要なのではないか。(辻本委員)
- バイオインフォマティクスではネット上などで大量のデータを利用して研究を行うことが多い。そういったデータの扱いに関する倫理規定を盛り込めないか？ (平川委員・清水委員)

5、バイオインフォマティクス事典について

バイオインフォマティクス事典の出版予定について中井委員より報告があった。既に全ての原稿は集められ、現在は最終的な索引等の編集作業を行っている段階で、5月頃の発売を予定している。

6、カリキュラムについて

学会の策定するバイオインフォマティクスのカリキュラムを改訂する計画について藤委員より報告があった。

7、平成 17 年度決算の中間報告

3月23日時点での日本バイオインフォマティクス学会の平成17年度会計について鈴木より報告があった。最終の収支報告は次回の評議委員会でなされる予定。

8、平成 18 年度予算

江口会長より、平成18年度の予算案について報告があった。
なお、謝金等に関しては、今後事務局でより正確に検討を行う。

9、平成 18 年度会長選挙

江口会長が会長を退くにあたり、18年度の会長選挙が行われた。
その結果有効投票数14に対し得票数13で中井委員が次期会長に選任された。

10、その他

小長谷委員より、2006年度は国際会議 INCOB が会場の都合の関係で、GIW と同一の日程となってしまったことが報告された。

以上。